



卓 話

クラブ協議会

☆曾我 祐二郎会長

従来は1回のクラブ協議会ですが、いつも時間が足りなくなりますので、今回は2回に分けさせていただきました。前回申し上げたように、四谷ロータリークラブのテーマは参加し易いクラブ活動を目指すということです。是非、例会に心置きなく楽しむ気持ちで来て、必ずまわりの方々と会話をし、コミュニケーションの場として活用していただく、その積み重ねがクラブの活性化に繋がると思っています。先日会長・幹事拡大委員会、1200名の会に出席し、その中でクラブの活性化、会員の拡大化の悩みは全国一緒であると感じました。しかし、クラブの中でも格差が出てきています。首都圏で大きな企業が集まる地域や、地方でも県庁所在地の都市などは会員拡大しているところもあり、むしろなりたいと思っている方が多く、新入会員が増えています。しかし80パーセントのクラブが前年度より減少しているのが現状です。たまたまお話をした館山のロータリークラブの会長がおっしゃっていましたが、バブルの前に小クラブをつくったが、今地方都市は景気が良くなく、会員数が減って、両方のクラブを足しても70、80名になってしまい、合併もできないし、一旦小クラブの会員になってやめしまうと、親クラブのメンバーにもなれない、ということで狭いエリアで苦勞しているとおっしゃっていました。その為に、きめ細かく会話をしてコミュニケーションを計る積み重ねが1人、2人と新しい会員を増やし、退会者をなるべく少なくするということでした。その中で良い案だと思った事がありました。クラブ活動を長年続け、身体上等の理由でリタイアなさる方に感謝状を出すということです。そうすれば息子さん、ならびにその会社の後継者の方も入り易くなるのではということで、その感謝状の仕組みを取り入れてみたら新しい会員の確保につながるとおっしゃっていました。このように各クラブも非常に苦勞なさっております。四谷ロータリークラブも皆さんのお力を借りて今期4名増強予定ですので、身近にロータリークラブに相応しい人がおりましたら是非例会に連れてきて、一緒に食事をし、皆さんと名刺交換や会

話をしていただけたらと存じます。

☆小林 久子SAA委員長

SAAは辻副委員長、米山、小畑、藤原、渡邊、近藤各委員です。安心してお任せできる、何でもご存じの方を選んでいただき、心強く思っています。先週からお気付きかと思いますが、入口のテーブルを伏せることを提案しました。これは空いているテーブルが気になっていたからです。明るく楽しくても、とりあえず厳粛になる例会をしていきたいと思っています。またメインテーブルのA席には会長、ご来賓のお客様、卓話者、そしてこちらから順番に指名した方に座っていただきますので、宜しくお願います。今日はご来賓のお客様で席は一杯となりましたが、そうでない時も有るかと思っています。今年1年間SAAをこのような形で持っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

☆向山 功社会奉仕委員長

社会奉仕の中に2つの柱があり、1つは青少年育成で先週担当の出井委員長がお話をしました。私も四谷ロータリークラブでは主に四谷中学と連携して、俳句会、野球教室、防災救急訓練という活動を一緒にしています。これはHPなどで事前に皆さんにお知らせしますので、是非ご参加の程宜しく願いたします。もう1つの環境保全委員会については川原委員長が担当します。先日皆さんと集まりましたが、四谷ロータリークラブとして環境についての意識を高めていきたいと思いました。先日のG8でも2050年までにCO2を半減する話もありましたが、個々の積み重ねが大切だと思います。先日ヒマラヤのエベレストに登った三浦雄一郎さんの講演を聞きに、商工会議所主催の環境フォーラムに行きまして。三浦さんは80才近い方ですが、ヒマラヤ登山は2回目、5年前にも行っています。5年前は5000m過ぎると氷河が出てきたのですが、今年はかなり上の方に行かないとなく、溶けてなくなっているということでした。ヒマラヤ、チベット高原の氷河がなくなるといことは、ガンジス川、黄河、メコン川の水量が変わり、中国やインドのフードセキュリティに影響を与えるという記事が6月23日の日経ビジネスに掲載されていました。小麦の生産量を見ると中国は世界一、インドは2位、そして米でも有数の生産国です。つまりこの2ヶ国の問題は世界のフードセキュリティに直結しているということです。現在環

境問題は、我々の日々の生活や将来に与える影響が非常に大きいと言えます。2050年という42年後ですが、その間にCO₂を半分にしても2度温度が上がるという計算が出ています。この150年間に0.74度気温が上がったといいますが、2度上がると海岸地区の都市も大変影響が出るということです。ですから電気スイッチをこまめに切ることから始め、そして皆さんの意識を高め、環境保全委員会の仕事をしていきたいと考えています。会長が「参加しやすいクラブを目指す」と言うことなので、1年間たって、そう言われるようなクラブにするように進めつつ、今年のRIテーマは「夢をかたちに」ですが、先に述べた氷河が溶けるような悪夢を形にしないような活動を心掛けたいと思います。「社会奉仕とかけて晴れた七夕と解く、その心は、心に両方とも奉仕（星）が輝いている。」

☆廣本 慶一職業奉仕委員長

まだ入会して4年目ですので、職業奉仕を語るほどの見識を持っているとはいえません。皆さんに教わる事が大変多いと思いますが、同時に私もこれから1年間職業奉仕について勉強して行って、わかった事を伝えていきたいと思っています。その時は耳を傾けていただければと存じます。具体的な活動としては、前安田委員長がされてたHP「私の職業」を更新していく事と、地区の勉強会に参加してフィードバックをしていきたいと思っています。ロータリーの職業奉仕について、簡単な所から皆さんに申し上げます。「ロータリークラブとは何か」と問われた時に、1人1業種で選ばれた職業人の団体であり、職業を通じてそれぞれの会員が奉仕をする、いわゆる職業奉仕を主な目的にしているクラブである事をまず理解しておく必要があると思いました。—「ロータリーは果てしない夢を追い続ける夢追い人であり、クラブ例会はその夢をどのように実現させるかを語り合う場所であります。（例会の重要性が言われています）それらの多くの夢を叶えるためには、我々個人の職業が安定したものであることが前提にあります。（中略）数多く存在する奉仕クラブの中で、職業奉仕の理論づけと実践を根底において活動しているクラブはロータリークラブだけであり、換言すれば、職業奉仕クラブであることがロータリークラブの特徴であるでしょう。」—このようなことが職業奉仕について簡単に書いてありました。このような重要な委員会の委員長を任されたという事で、責任を感じるとともに一生懸命勉強していきたいと思っています。

☆大野 雅樹国際奉仕委員長

国内法しかできない弁護士が私が国際奉仕委員長ということなので重責に恐縮しています。今年は地区の当クラブでの組織体制が若干違います。クラブ内ではロータリー財団委員会、青少年交換委員会、米山奨学生委員会、世界社会奉仕委員会を国際奉仕はサポートしていく

事になりますが、地区では米山奨学生委員会とロータリー財団委員会が別組織的な形をとります。青少年交換委員会と世界社会奉仕委員会はそのままですが、対地雷の除去に関する特別委員会、オン・ツー・バーミンガム委員会のサポート役になります。この2009年にバーミンガムでRIが開かれますが、2580地区から、約200名という壮大なスケールで、ロータリアンとその家族に参加を呼びかけるということです。いずれにせよ、それぞれのクラブに於けるクラブの国際奉仕の夢を実現するという事が課題として与えられており、国際奉仕の夢を、私も皆さんも若い頃に立ち戻って考えていけたらと思っています。世界社会奉仕という点では当クラブではラオスのノンボン村での小学校建設や、図書館の寄贈の支援をしているので、これを今後どのように継続していくか、又国内に於いての世界的な社会奉仕のあり方などを議論していくとともに、その実践を考えていきたいと思っています。2010年、ロータリーの地雷除去の活動は收拾を打たれるようです。しかし2010年といってもあと2年ありますので、その財源確保の問題があがっています。ちなみにクラブによっては地雷除去への寄付を数十万単位でしているようですが、当クラブは2万7千円程ですので、やはり皆さんにご理解いただき、実践的に寄付をしていけたらと思っています。国際奉仕の夢というものを、皆さんに初心に立ち返って考えていただきたいと思っています。

☆秋葉 賢一ロータリー財団委員長

ロータリークラブ財団委員長という重い役職をいただきました。今年の大きなテーマは「夢をかたちに」です。夢を持ってそれを具体的に形にすることを、ロータリー財団ならびに各クラブが協力するという事です。特にその中で、ロータリー財団は教育を通じて夢を与える行動を考える事と、ロータリー財団が以前からやっていたポリオの完全撲滅に向けて協力するという事が、大きなテーマになっています。これにはやはり、皆様の寄付がなくてはできませんので、年間100ドルの寄付という事に加えて、今年度はポリオ撲滅の為、メンバー1人3000円の寄付をお願いする事となりました。寄付の話ばかりで申し分けありませんが、寄付、ならびに人道的プログラムへの協力という事で、社会奉仕部門と連携をはかって、地区の補助金を活用し、支援をしていこうということです。ロータリー財団は寄付を集める事だけでなく、寄付したお金を活用し、それを地域の活動に使っていくという2つの側面がありますのでご協力をお願いいたします。それからお金の流れについて、計画書の26頁に出ている収支予算書があります。その中にロータリー財団のお金の使い方が出ています。1名あたり72ドルで、目標の100ドルに達していません。これを埋める為に色々な工夫が必要だと考えています。ロータリーカードの活用という事も1つの手法ですので、皆さんの負担にならないように100ドルに近づけた寄付をできるようにしていきたいと思っています。

☆カイトル・ハルトムート青少年交換委員長
International Student Exchangeの委員長をさせていただきます。とても自分には良い仕事かと思えます。私の覚えている20年間のExchange Studentsは皆大変すばらしい人達でした。他国に行くと言葉で大変苦勞するという事は良くわかります。私も日本人を見たこともない状態で日本にきて言葉で大変苦勞しました。宜しくお願ひします。

☆渡邊克枝米山奨学委員長

皆様すでにご存じの通り、今年度四谷ロータリークラブはチェ・ヘヨンさんをお迎えしています。年度末の最終夜間例会ですでに皆さんとお話をなさり、打ち解けているのを見て安心しました。これからもクラブへ来て下さった時には声をかけて、韓国の事を聞いたり、日本の色々な事を教えてあげてください。

☆辻明信ソングリーダー委員長

副委員長廣島会員、大野会員、カイトル会員、小林久子会員、坂本会員と出席率の高い方ばかりです。一番出席率の低い私は曾我会長が出席せよという事で、指名を受けたと思っていますので極力出席したいと思えます。毎月の歌のほうですが、来月から独自の歌を選曲します。これはピアノの湯浅先生のご推薦の曲を家内が選んだものですので、皆さん楽しみにして下さい。それから誕生日の歌、これは亡き三浦会員がつくってくれたハッピーバースデーソングですので、是非来月から披露し、皆さんにも覚えていただきたいと思えます。